

国際オブティミスト級

2019 計測セミナー

テキスト

Objectives このクラスの目的とは？

- 1.1 このクラスの目的は、若い人達のために低コストでレースを提供することである。
- 1.1 The object of the class is to provide racing for young people at low cost.

オブティミストの 由来～ Origin of the Optimist ～ 【*プラムとは箱舟との海事用語】

- 1947 年 USA フロリダで クラーク・ミルズ が子供の遊び用としてデザインし流行したものを Optimist Club がミルズに制式艇として再設計を依頼し「オブティミスト プラム*」と命名した。
- 1954 年 デンマークの Axel Damsgaard はこの艇が ジュニアのスポーツ・セーリング 艇として **その素質が優れていることに着目し**、改良して 自国の クラブ仲間たちに紹介した。
- 1960 年 には 寸法の標準化 が行われ、Nigel Ringrose (GBR・IODA 2 代会長) は 英国に紹介した。
- 1962 年 第 1 回 ワールド開催 しかし 参加は北欧 4 ヶ国 なので 実質的には今風のワールドではない。
- 1965 年 国際 OP 協会創立、会長 Viggo Jacobsen (DEN) 1969 年 第 1 回 全日本開催 1970 年 FRP 艇を認定
- 1973 年 IYRU (JSAF) が国際クラスに認定ブランク (IYRU 建造納付金) 番号の発行が始まる。 アルミマスト現れる
- 1973 年 ワールド参加 20 国 1976 年頃まで過激な競争はまだない。1979 年日本初参加 木造艇は 1981 年ワールドまで。
- 1983 年 第 1 回ヨーロッパ選手権開催 (ESP) 1985 年 アル・チャンドラー (THA・ドイツ 3 代) 会長就任
- 1988 年 チームレース に オンザウォータージャッジ導入 1989 年 ヘレン・メアリー・ウィルクス (IRL 4 代) 会長就任
- 1989 年 横浜ワールド開催 (Japan) 1990 年 第 1 回アジア選手権開催 (シンガポール)



- 1993 年 ワールド 参加 41 ヶ国
- 1995 年 **厳密なワンデザイン IOD95 艇 制式化**
IODA ウェブサイトを導入、I T 時代に入る
- 1998 年 レネ・クレイン (NED 5 代) 会長就任
- 2004 年 **厳密なワンデザイン 新型フォイル 制式化**
- 2006 年 ピーター・パークレイ (ペルー 6 代) 会長就任
- 2010 年 マレーシア ワールド 参加 53 ヶ国 岡田圭樹 銅メダル
(日本選手の最高成績)
- 2017 年 ケビン・ウィットクラフト (タイ 7 代) 会長就任

計測員にできること とは？

若いセーラーを育てるために 大人は何ができるのか？ コーチ？ レース員？ 審判員？

『レースを提供する』とは レース・大会 を育て、子供の努力に花を咲かせて報いるとの意味です。

平 時

基本計測

まず公平なレースの下準備として、レース艇を 公平な体制で ① 管理 する必要があります。

公平ではない艇をレースから除くために、あらかじめ公平さの ② 証明 して大会本番仕事を減らします。

これらは ① 艇登録 と ② 基本計測 の要件となります。

レース時

大会計測

クラス規則を始めとして すべてのヨット規則は レースで活用するために考えられています。

ジャッジは 主に違反後なのに比べ 違反する前に ③ 大会計測 検査 にて選手の失格を防ぎます。

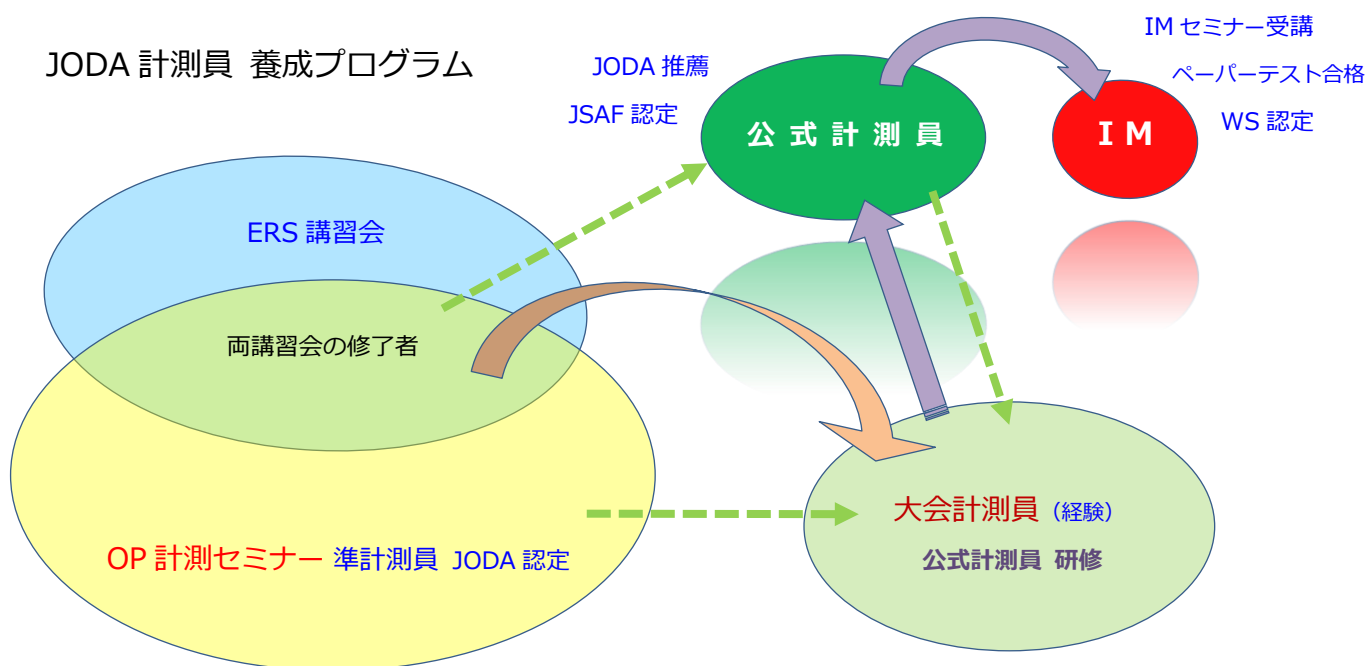
現代のヨット規則は複雑すぎるので、選手だけのスキルでは 装備の公平さを確認できないために
とりわけクラス規則に関する範囲をフォローして レース環境を 整備するのが計測員の役割です。

計測員体制とは あって当たり前で意識せず、なければ不便 という意味で インフラ整備 に似ています。

クラス協会（JODA）では 選手に 気持ちよく いい大会を楽しんでいただくために、OP クラスに適した

2ステップ の人員育成方式で 保護者や関係の方々から ボランティアとなって ご支援をいただいています。

JODA 計測員 養成プログラム



Summary

オフィシャル メジャー

準計測員

準計測員

別 称	公式計測員	公式計測員候補者	イクイップメントインスペクター
任命者	日本セーリング連盟 (JSAF)	日本 OP 協会 (JODA)	テクニカル委員会
任 期	2017-2020 (RRS の改訂期間)	10 年間 (例: 2019~2028)	
大会計測	・イクイップメントインスペクター ・選手の不備に対して証明書発行	・イクイップメントインスペクター ・公式計測員ステップアップへの実地研修	
計測証明書	発行する事ができる。	発行する資格は持たない。	
ERS 講習会	修了者であること。	任 意	
OP 計測講習会	修了者であること。	修了者であること。	
JSAF 会員	必 須	JSAF 入会を勧めるが、強制ではない。	

関連資料（規則・マニュアル&ガイド）の入手

計測員は必要な資料を入手する事が求められます。

このテキストがパソコンに入っている状態で青字をクリックすると

<http://japan-opti.com/rule/> JODA計測委員会 の画面が現れます。(赤字○から必要な資料を入手します。



Japan Optimist Dinghy Association 日本OP協会 クラスルール計測委員会

Welcome to Japan Optimist Dinghy Association Class Rule measurement committee

0028269

<最新セーランバー>
2013.1.22現在
JPN-3287
(仮予約ナンバーも含)

大会計測



2012大会計測方針
安全規定・海上計測ガイド
装備の修理交換の場合
ハル重量計測について
従来艇の大会計測
ブランクNo.とセールNo.の一致について

日本OP協会HOME

IODA HOME

ISAF ODC 計測委員会



当サイトが好きな方々に読んで頂く日本の情報は

加賀クラブ 活動報告 南沢新 関いむむせ 新組合員登録



協会のホームページへようこそ。
OPの精神で世界のみなさんに楽しんでもらっているヨットです。
参加する最も有名なクラスであり、国際的に15歳までの子供達にだけ許される唯一の国際選手権が行われる。20歳の国際的なヨット艇にあり、非常に危険なものである。ヨットの購入費は1000万円、13万人のジュニアセーラーが参加し、世界選手権大会を開催、多くの大会が行われ、大いに盛り上げている。

下記/下記/下記に詳細情報を掲載しています。ここにリンクしてください。
ホームページを掲載しました。目の前からどうぞ。

2012年大会計測委員会事務局の案内です。ここにリンクしてください。

国際大会シリーズ

東日本	西日本	チームレー	全国大会	国際大会
東日本	西日本	チームレー	全国大会	国際大会
東日本	西日本	チームレー	全国大会	国際大会
東日本	西日本	チームレー	全国大会	国際大会
東日本	西日本	チームレー	全国大会	国際大会

ナショナルチーム

世界中に、100以上の国で15万人以上のジュニアが、OPのセーリングを楽しんでいます。

たとえば言葉は通じなくても、セーリングの心意気とクラスルールで、OPの共通世界が結ばれています。

クラスルールとは、大会・レースのお約束事、**計測**とは 約束を守るとの証(あかし)

この2つを正しく見つめながら、国内や、世界の舞台で、OP仲間との競技や交流を織り成して下さい。

更新履歴

2013.2.15
・2013 ERS資格/国際OP級/国際FJ級 計測講習会開催公示 を掲載しました。
2013.3.9 福岡県小戸ヨットハーバー

2013.1.18
・2013のクラスルール(対訳版)を公開します。
2013.1.1より有効となっています。変更点などは解説文を参考にしてください。
・2013 INTERNATIONAL OPTIMIST CLASS RULES
(2013 OP級 クラスルール)

2012.12.11 2013.1.4(解説追加)
・公示

フォイルの今後の取り扱いについて

本語版、特別版を追加しました。

吉書を掲載しました

参考資料 20ISAF広告規定
山・広島講習会参加者を追加しました
開催案内
葉山新港
音音マリーナ
16:00
2) (3)

蘇州の旅 荒川達
見学

ATIONAL OPTIMIST CLASS

2013
INTERNATIONAL OPTIMIST CLASS RULES
(OP級 クラスルール)



Plans 公式図面集

クラスルール変更箇所一覧
2009年クラスルールの改正点
2010年クラスルールの改正点

計測/登録申込み方法

01 計測登録の基礎知識
02 計測登録の種類
03 艇の登録・名義変更
04 装備品計測
艇登録料・装備品計測料

計測登録申込書類ダウンロード

Information
2012広告規定の参考資料
広告規定の参照資料
スバーの刷印タイプのシリアルN

Data box
2006/2007ハル重量

FAQ(よくある質問)

Measurer
計測員名簿
計測員登録規定
IODA大会 計測指針

World Report
2011ワールドNZL番外編
2010ワールドMAS
2007ワールドITA

Report
2012上海・啓東・蘇州の旅

主要大会の **大会計測情報** はJODAホームページの
レースタイトルから探すことができる。

公式図面集 International Optimist Plans

2019 INTERNATIONAL OPTIMIST CLASS RULES

AUTHORITY*: THE WORLD SAILING

* THE WORLD SAILING IS NOT A NATIONAL AUTHORITY AS DESCRIBED IN THESE RULES

(ワールドセーリングは この規則で述べられている国内連盟ではない)



概要

1 総則

- 1.1 基本理念が述べられる。→ p.1
- 1.2 ワンデザイン クラスの ポリシーを説明。
- 1.3 1.4 **WS**が 国際クラスの規則を管理している との位置づけ。

0.5 頁

2 管理

- 2.1 国際クラスとして**英語**の優先。 図面、図表、計測用紙も **規則** に含まれる。→ p.2
- 2.2 建造者の 艇供給への**責任** (クラス規則との一致義務、不合格への対応等)。
- 2.3 **ブランク** と **レジストブック** により、国際クラス・システムに**管理**される。
- 2.4 **登録証** (レジストブック)と **計測証書** ・**セールナンバー**発行の流れを説明。
- 2.5 ・ J A S F に**公認**された**計測員** (オフィシャルメジャー) が**計測証明書**を発行できる。
・ 計測員の**利害関係**の説明。 ・ 計測後の規則適応の**維持**は**オーナー**の責任。
- 2.8 『広告』は2013年に全面的に改訂された。 → p.5

4 頁

3 構造および計測規則 (↓ここからが装備について実務的な展開となる。)

- 3.1 **総則** ・寸法の許容幅は、許容範囲ではなくて、ワンデザインの許容 **誤差** である。
・チタニウム、カーボンファイバー等の新素材の禁止 → 価格競争とならないように。
- 3.2 **ハル**、6頁以下は建造者の為に重要、I Mのプロトタイプ計測で製造規格を保つ体制。
- 3.2.6 ハルに許される艀装について詳細を規定。 選手、支援者には この理解 が重要。
- 3.2.7 **浮力**。選手の安全のためには特に注意を払うべき。
- 3.2.8 **重量**。 クラス規則に明記された状態で、**35kg**以上でなければならない。
- 3.3、3.4 **フォイル**。 2004年より、ワンデザインらしく厳密に規定された。→ p.14
- 3.5 **スパー**。 セールと、スパーのみが、旧ルールのままワンデザイン化していない。
- 4. **追加規則**。 その他の許される点を明記。 選手、支援者には この理解 が重要。
- 6. ・**セール**。 セールはパワーの源なので、選手には一番関心の高い装備である。
・そのために通常の大会計測では、**2 管理** と **6. セール** が優先的に検査される。

20 頁

2 頁

付則A : O P 発祥の由来となった**木造自作艇**を、現在でもクラスは排除していない。
しかし木造艇がほとんど使用されていないのに 本文中に『木造艇については…』の記述が多く
出るので、そこは小さな文字と薄い色で表し 読みやすくしてある。

2.8 広告 (2013 年改訂)

2.8.1 競技者の広告は 次の通り以外を禁止する： 大会広告用に指定されている部分を除く ハルの部分。

競技者の使用可能な部分の広告は 一時的に粘着するステッカーのみが許される。

2.8.2 ISAF【広告規定】20.2.4 の追加として タバコまたはアルコール製品の促進 または 明白な性に類する 広告を禁止する。

広告には 3 種類あります。

1. 製造業者とセールメーカーのマーク 青色で示す。
2. 大会スポンサーの広告 緑色で示す。
3. 競技者の広告 赤色で示す。

上記 3 者が権利を持ち 大会で問題となるのは
主に **3. 競技者の広告**です。

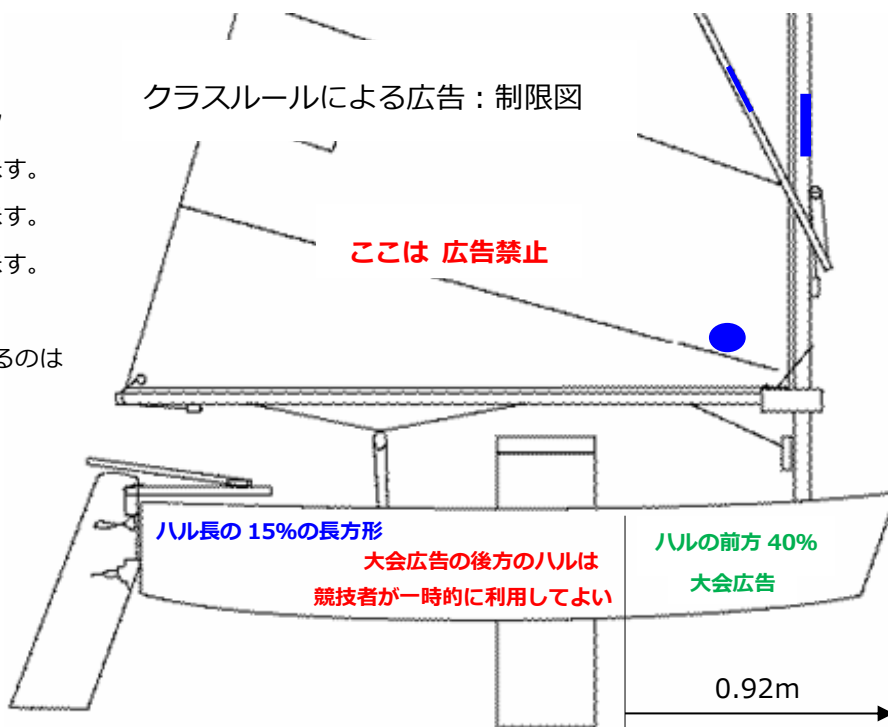
一般に 競技者は、1. 2. 及び
クラス規則 2.8 で制限されなければ
自由に広告を表示できます。

また、過去の大会広告の残りは

2. ではなく 3. と見なされます。

1. と 2. が 競合する場合は

2. が優先されます。



さらに詳しく↓

http://japan-opti.com/rule/rule_file/CR/2013_OPClassRules_comment.pdf

IODA 公示

セール上の識別 について 2016.3.28 IODA 計測委員会より公示されました。

http://japan-opti.com/rule/rule_file/koji/20160414_1-16-01_sailnumber.pdf

1. **セール ナンバー** RRS G 1.2(a) 及び ワールド セーリング Q&A L007 に従い、四角形のいわゆるデジタルナンバーは、その判読しやすさについては RRS 付則 G の条件を満たしていません。今後の ニューセールについては この様なセールナンバーを使用しないで下さい。

2. **国籍文字** 次の国籍文字は 四角形デジタル文字の様式では作られない：A,B,D,K,M,N,Q,V,W,X,Y,Z

3. **セール ナンバーおよび国籍文字 過去のデジタル使用セールの受容について**

適用事項：セールの デジタル国籍文字／ナンバーは、国内大会については**2016 年 8 月 15 日**以降に 新品 または セールナンバー変更 として計測されたセールが規制される。
→ タック付近にある 計測員サインの日付が 8 月 14 日以前のセールは OK です。

RRS 付則 G 1.2 (a) 国籍文字とセール番号は、大文字とアラビア数字で、はっきりと読みやすく、また同じ色であること。

セール上の識別

ヘルベティカと同じか、またはそれ以上に判読しやすい市販の書体が適している。



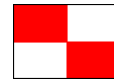
RRS (セーリング競技規則) 2017-2020



主な改正は、計測委員会が レース委員会内の小委員会から独立して **92 条 テクニカル委員会** 新たに追加されました。
また、定義に**支援者**が加わり、基本原則 5 アンチドーピングの他に 6 **賭博行為**と 7 **贈賄**も 禁止規則となりました。

レース信号の図表 に U 旗が追加されました。

目次で 付則 **S** 標準帆走指示書 と **T** 調停 が追加になりました。



序文で **用語**と **ワールドセーリング規程** は わかりやすくするために表となりました。

定義で 利害関係者は(a)~(c)に項目分けされて 付け加えられました。

基本原則で **2 公正な帆走** これまで この規則による失格の成績は削除できませんでしたが

今年から 削除できる／できないの どちらかを選ぶ事ができる。となりました。

第3章

30 スタートのペナルティ : 30.3 は U 旗規則となり、黒色旗規則は 30.4 となり規則の番号が移動しました。

第4章

43 競技者の衣服と装備 : 43.1(c) の削除 理由:計測委員会がレース委員会より独立して テクニカル委員会となった為。

第5章

60.4 抗議等に テクニカル委員会のできることが 新しく加わりました。

63.4 利害関係者は(a)~(c)に詳述されました。

64.4 支援者に対する判決が **新設** されました。

69 重大な不正行為 から 不正行為 と名称変更され 内容も変わりました。

第6章

78 クラス規則に従う事

78.1 証明書の 維持・有効性 について具体的な期間を **レース中** と明示、NOR、SI に記載されればそれも含まれる。

78.2 ペナルティは 旧 ..すべてのレースから失格 → 新 ..すべてのレースから**審問なし**に失格 とより厳しくなった。

第7章

92 テクニカル委員会の新設 : これまでの本文規則は プロテスト委員会の 91 が最後でしたが 92 が追加されました。

テクニカル委員会 新設までの流れ

時代が下がると共に、一般に あらゆる規則は追加され、より複雑となる傾向で クラス規則・競技規則ともまたしかりです。
ヨットレースの運営には オフィシャル3部門として レース委員会、プロテスト委員会、計測委員会 が必要ですが、
25年以上前までは レース委員会内のプロテスト小委員会が普通だったので、レース委員が現認すれば 失格が実際でした。
実行委員会が組織するには よりシンプルな構成が求められますが、より公正な大会を目指せば3部門の独立が理想です。
日程的・経済的には計測を圧縮するのが 楽に大会運営するコツですが、計測の無視はできません。そこで 新規の92.1には
「最低一人で構成され」と書かれていて、ローカルな大会でも委員会を実現できるような 優しさが配慮されています。
委員会の呼称には悩みました。ERSの仕分けでは 計測とは将来の変化も予想して長期の計測値で “証明の管理”するであり、
一方、大会計測は 装備の検査と呼称して 大会期間中の短期が合格できればよい **Yes/No** の検査 → “装備の検査”です。
ERSの本来ならば “装備の検査委員会”と呼ぶべき所、イクイップメント・インスペクター・コミッティ では舌を噛みそうで
長いので、伝統的に計測を表すテクニカルの呼称を採用して、メジャーメントを使わないよう配慮したと考えられます。



基本計測 とは？

ERS C.4.1 基本計測

装備品の物理的性質を確認
するための第一段階の
手段として使われる方法。

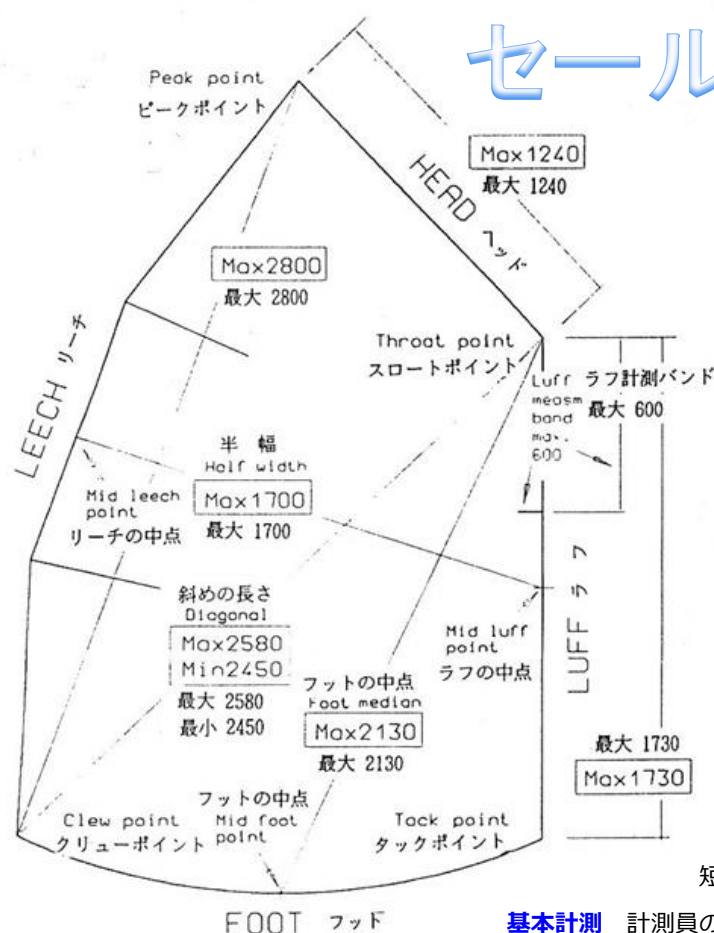
C.4.1 Fundamental Measurement

The methods used as the primary means
to establish the physical properties of
equipment.

1997年までは、計測証明書が必要なのはハルだけで、セール等は全日本大会などで 一発勝負の計測を受けました。

あまりにもリスクが伴うので 計測トラブル（レース開始までに修正・再計測）回避に **基本計測＝証明書発行** システム
が現在では常識となっています。

セール



用意するもの とは？

- ・ スチールメジャー JIS ㊦ 1 級 3m
- ・ ペン 鉛筆 (2B) と消しゴム
- ・ 均一な厚さのパテン (約 2m)
- ・ ノギス ・ マイクロメーター ・ 電卓
- ・ 公式図面集
- ・ 最新版のクラスルールブック
- ・ 現行の ERS
- ・ 計測フォーム → サインをすると証明書
- ・ スタンプ 2 セール用 1 証明書用 1

大会計測と基本計測の違いを把握する事

大会計測 レース公示、および帆走指示書によって要求

される大会に実施→ **大会のために**→ 大会期間のみ有効

短時間に大量検査があり、大会レベルに応じて省略するも可能

基本計測 計測員の知識の限りを実施→ **クラス発展のために**→ 大会パスポート

クラスルール 6.1.3 セールは **ここで変更されるものを除いて** オプティミスト・セールに適用できる現行の
ISAF「セーリング装備規則」に従って作られ 計測すること。(クラス規則+ERS=OP セール)

6.3.2 繊維は **ポリエステル**または木綿であること。

6.3.3.1 セールの構造は**ソフトセール**、**単層セール**であること。

6.3.3.2 セールの素地は **全体が同一の 織った繊維**から成るものであること。 **フィルム**→ ×

ERS の
知識も
必要です。



FORM #

INTERNATIONAL OPTIMIST CLASS

Sail Measurement Form セール 計測用紙

セールメーカー名: 製造日

セールボタンNo.: 計測日

オーナーの名前:

計測員名 活字体 大文字で:

項目	寸法 番号 規則6.4により	計 測	最少(mm)	実際 (mm)	最大 (mm)
1	2	ヘッド長さ			1240
2	6	ラフ長さ			1730
3	9	ラフ計測バンドの上端 から スロートの点			600
4	8	ラフ計測バンドの長さ	60		
5	7	ラフ計測バンドの幅	5		
6	3	対角線の長さ	2450		2580
7	1	リーチ長さ (ここがセール計測の一番長い距離)			2800
8	22	ピークの点からリーチと下部バテンポケットの下縁の交点まで	1850		1950
9	21	ピークの点からリーチと上部バテンポケットの下縁の交点まで	900		1000
10	25	下部バテンポケットの下縁とクリューの点の間の直線からの偏差	-10		5
11	24	上部バテンポケットの下縁と下部バテンポケットの上縁の直線からの偏差	-10		5
12	26	上部バテンポケットの下縁とクリューの点の間の直線からの偏差	-5		20
13	23	ピークの点と上部バテンポケットの上縁の間の直線からの偏差	-10		5
14		ラフの中心とリーチの中心の間の距離 (旧半幅)			
15	4	項目11の中にマイナス偏差があればそれを項目14ににに加えた値			1700
16	19	上部バテンポケットの長さ (外側)		Both OK/Not OK	460
		下部バテンポケットの長さ (外側)		Both OK/Not OK	550
17	20	バテンポケットの幅 (外側)		Both OK/Not OK	40
18	14	フラッターパッチ			150
19	11	各コーナーの計測点からの 一次補強		All OK/Not OK	205
20	12	各コーナーの計測点からの 二次補強		All OK/Not OK	615
21	13	バテンポケットの各端のバテンポケットパッチ 小		OK/Not OK	150
		大	160	OK/Not OK	200
22	15	重ね部の幅 (タブリング)		All OK/Not OK	40
23	16	シームの幅		All OK/Not OK	15
24	10	セール素地の全ての場所での 織られたブライの厚さ	0.15		
25	17	窓の 台形の開口部の面積			0.1m ²
26	18	窓 から最も近いセールの縁までの距離	150		
27	27	ラフアイレット (はと目の中心から中心) の間隔	230	All OK/Not OK	260
28	28	フットアイレット (はと目の中心から中心) の間隔	270	All OK/Not OK	300
29					

計測員 署名:

日付:

計測員認定機関:

Sail Measurement Form

National Letters and Sail Numbers

セール 計測用紙
国語文字 と セールナンバー

セールナンバー: _____

項目	寸法 番号 規則6.5.1により	計 測	最少(mm)	実際 (mm)	最大 (mm)
1	1	高さ	230	All OK/Not OK	240
2	2	幅(数字“1”または英字“I”を除く)	150	All OK/Not OK	160
3	3	M および W の幅	160	All OK/Not OK	170
4	4	太さ	30	All OK/Not OK	40
5	5	隣り合わせの番号 または 文字 の間隔	40	All OK/Not OK	50
6	6	番号 または 文字 の 列の間隔	40	All OK/Not OK	50
7	7	セールの 背中合わせの国語文字群 の間隔	100		150
8	8	各列の ラフと 最も近い番号や文字との距離	150		
9	9	上部パテンポケット下縁と リーチに最も近い国語文字との距離	40		50
10	RRS G1.2(b)	文字とセール縁との最短間隔	45	All OK/Not OK	

計測員名 活字体 大文字で: _____

計測員 署名: _____ 日付: _____ 計測員認定機関: _____

Second Measurement

If the sail letters/number is changed

2 回目の計測
セール文字/ナンバー変更された場合に

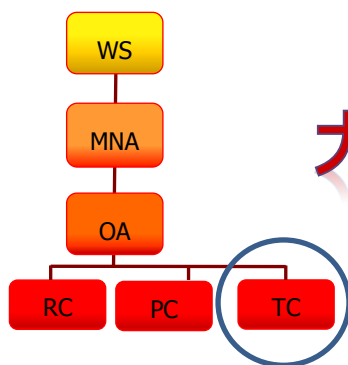
セールナンバー: _____

オーナーの名前: _____

項目	寸法 番号 規則6.5.1により	計 測	最少(mm)	実際 (mm)	最大 (mm)
1	1	高さ	230	All OK/Not OK	240
2	2	幅(数字“1”または英字“I”を除く)	150	All OK/Not OK	160
3	3	M および W の幅	160	All OK/Not OK	170
4	4	太さ	30	All OK/Not OK	40
5	5	隣り合わせの番号 または 文字 の間隔	40	All OK/Not OK	50
6	6	番号 または 文字 の 列の間隔	40	All OK/Not OK	50
7	7	セールの 背中合わせの国語文字群 の間隔	100		150
8	8	各列の ラフと 最も近い番号や文字との距離	150		
9	9	上部パテンポケット下縁と リーチに最も近い国語文字との距離	40		50
10	RRS G1.2(b)	文字とセール縁との最短間隔	45	All OK/Not OK	

計測員名 活字体 大文字で: _____

計測員 署名: _____ 日付: _____ 計測員認定機関: _____



テクニカル委員会の役割

大会計測

C.4.3 Equipment Inspection

Control carried out at an event as required by the notice of race and the sailing instructions which may include **fundamental measurement**.

大会計測 とは？

ERS C.4.3 装備の検査

レース公示、および帆走指示書によって要求される大会において実施される管理。

基本計測を含めることができる。

皆さんが計測の技量を身に着けるための最も良いやり方の一つは、大会計測員を手伝う補助員として、大会に参加する事です。

大会計測と基本計測の違いを把握する事

大会計測はレベルが1～5まであり、そのタイプに沿った検査を実施し大会を支援する。

- LEVEL 1 – (国内水域大会) – 計測証明書だけ +安全装備
- LEVEL 2 – (全日本選手権) – 計測証明書 +セール +安全装備 +ハル補正おもり
- LEVEL 3 – (国内大会、オリンピッククラスの選手権または主要国際大会) – 計測証明書 +セール +重量と補正おもり +安全装備 +スパー上のリミット・マーク
- LEVEL 4 – (オリンピック予選、大陸+世界選手権) – 計測証明書+セール+重量+補正おもり +スパー上のマーク+安全装備
- LEVEL 5 – (オリンピック・レガッタ) – 計測証明書+ (ほとんど) フル計測 +安全装備

JODA

一般的なガイドライン

- 特別な「計測用紙」go/no go システムを使用。
- 可能なところは、ジグ、テンプレート、計測棒を使用してテープ式巻尺などの使用を避ける； 最も単純な仕事のできる用具を使用すること。
- セール計測はテーブル上で。
- 実際の検査業務を進行するための基本計画

IODA 計測マニュアル

2013年のアジア/葉山は IODA大会なのでこのマニュアルに沿って実施した。

基 本

計測 エリア のレイアウト：

- ・ 計測エリアはポートパークに近接しており、周辺はアクセスをよくするために、車両から隔てられなければならない。
- ・ 特に重要な事は、車両の流れが周辺を横断しない事。それは計測を受けるチームの流れを妨げてしまうからである。
- ・ ドアやフェンスで区切る事により、計測を受ける者だけが、近づく事が可能とする事。また周辺での艇の動線をよく考える事。
- ・ 計測エリアは、屋内で少なくとも200㎡以上の広さがなければならない。
- ・ エリアの 入場／退場口は 検査されるチームと装備品がうまく流れるように、反対側になければならない。
- ・ 昼休み中、夜間には、保安上閉鎖できるようにする事。
- ・ 計量器やパソコン用の電源、照明設備は不可欠である。



フェンスで仕切り計測エリアを確保

レース日： レース期間中は（計測が完了すれば）、他の目的の為にエリアを使用してもよい、しかし、計測委員会が

（艇重量・セール等の）再計測のために最低60m³以上を残しておく事。

- ・計測委員会には 中央ハンドルで **6m40馬力**程度の**ゴムボート**が必要。
可能ならば、計測検査の為に陸まで艇を曳航できる能力があると良い。
ボートは、アンカーリング装備と計測旗を固定するポールが必要。
- ・計測旗は、白地に『M』の文字がプリントされている事。



用具の管理：スタンプとステッカー

スタンプ： ・セール用のスタンプ（最少2個）は、選手権大会**ロゴ**を含む、**7×5～10×10cm** までのサイズでなければならない。

- ・新品で、**防水インク**のスタンプ台（最小2個）
- ・**防水インク**は、ダクロン生地に耐久性がある事。

ステッカー： ・ステッカーは 円形で、耐水性に優れたビニール製のものでなければならない、大会の**ロゴ**を含む **約5×5～10×10cm**の大きさがあり、（計測員の）サインが透けて見えるような、透明なものではない。

- ・ステッカーの数量は、**1艇あたり6枚**が必要で、エントリー数に応じて増やしていき、**10%程度の余分** を作り、用意しなければならない。



マーカーやその他の必要物：

- ・防水マーカー。スパーは通常は黒色なので、白色、銀色または金色の防水マーカーが必要。
- ・ペン、鉛筆、コピー用紙やホッチキスを用意する事。各ステーション担当者は流暢な英語で意思疎通ができること。

計測ステーション（STATIONS：部署）：

各ステーションの記号と色は IODAから標準化されることにより、すべての選手権大会で継続的に使用される。

計測補助員は下記のように**全ての計測日**に参加できること。各ステーションを担当する人は、流ちょうな英語で意思疎通ができること。注: IODAは **ペーパーレス**計測進行方法を開発しており、方式は今後も改良されるが、基本原理は同じである。

ステーション A：計測受付 入場/退場時

チェックイン： チームに計測書類を配り 予約時間を記入。監督はチームが計測を始める 1 時間前に書類を受け付け分類する。

公式チャーター艇を使用しなければ、証明するために**有効なレジストブック**と **有効なセール計測証明書**も示すこと。

受け付けた書類が正しければ、各ステーションで使用できるよう、大会の**計測用紙**を発給する。

チームの入場時にはブリーフィング（通常は計測委員長による）そして装備は計測場へ入る前に次のものを調査する。

- ・艇と装備の乾燥状態、浮力体はストラップから外し膨張、メインシートはブロックから外す、フオイル スパーはカバーから出し セールはスパーから外す。さらに次を提示する：個人用浮揚用具(PFD)/風見/曳航ロープ/あか汲み(複数)とパドル。

チェックアウト： 各ステーションにて記入された色別の計測用紙をチェックする。全て正しく記入されている事を確認し、計測委員会により検査された装備品にて、選手がこの大会に参加する事が認められる『大会計測証明書』を発行する。

『不許可』項目が一つでもあれば、再計測が必要である。再計測は その日の最後か仕事量が少なくなり区切りが付き可能な時に行う。計測が完了すれば全ての用紙は、チームごとに、ホルダーに納めて、完了受付ステーションに残しておく。

スタッフ： ・計測員 1 名：計測受付の**経験**がある者、しかもそれが O P クラス書類処理であればなお良い。

この仕事は、あわただしく時間に迫られている状況下で、監督に対して穏やかで愛想のいい対応ができる人であることが必要。 ・補助員 2 名：書類処理で計測員を手伝う。

用具： ・テーブル/机×1 と椅子×3 ・1 x ラップトップ・コンピューター ・1 x プリンタ（あるいは利用可能な接続）

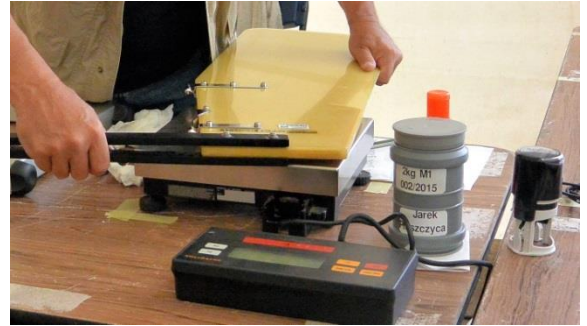
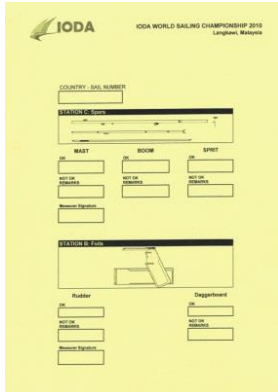
- ・**計測用紙（参加国に各×1 のフルセット）** ・ペン、鉛筆、コピー用紙、やホッチキス

ステーション B : フォイル 管理 (黄色の計測用紙)

機能: テンプレートを使用して 形状、材質、ラダー取付位置、ダガーボードの重心位置を検査、フォイルの重量、シリアルNo、製造者を確認する。合格の装備品にはステッカーを貼る。

スタッフ: ・計測員 1 名 ・補助員 1 名

用具: ・1.5×1 mのテーブル×3 ・椅子×2
 ・ダガーボード計測用テンプレート×1
 ・ラダー計測用テンプレート×1
 ・5 kg用重量計×1 (誤差が10g以下の精度のもの)
 ・ペン、鉛筆、コピー用紙・防水マーカー

**ステーション C : スパー 管理 (黄色の計測用紙)**

機能: マスト、ブームと スプリットを検査する。各計測品のセールNo.とシリアルNo.を確認。マストとブームの計測バンドが永久的に記されているかを検査。穴の位置と艀装品とスプリットの長さも検査する。各計測品のサインの上から計測管理されている事を表すステッカーを貼る。

スタッフ: ・計測員 1 名 ・補助員 1 名

用具: ・テーブル×1 (3×1 m) にテンプレートを載せる。
 ・椅子×2 ・ペン、鉛筆、コピー用紙
 ・防水マーカー

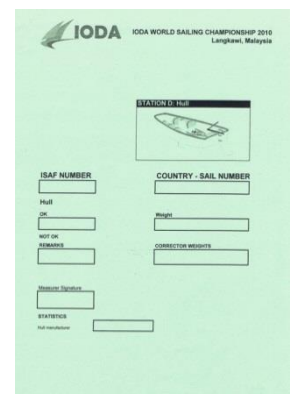
**ステーション D : ハル 重量 管理 (緑色の計測用紙)**

機能: モールドNo、マストスウォートに書かれたセールナンバーとWSブルーNo、(受付事務局で入手した緑色の用紙に記入されたものと同じナンバーである事)を検査する。ハルの計量前に準備すべき条件が満たされている事をチェック(乾燥、ロープ類やエアバッグが取り外されている事)してから重量計に載せる。重量計の精度を検査する。重要なのは、このステーションが、水平なコンクリート床の場所(木の床や芝生の上ではない)である事と、風に対して防御されている事。

スタッフ: ・計測員 1 名 ・補助員 2 名

用具: ・テーブル×1 と 椅子×2 ・50kg用デジタル重量計×1 (50g以下の精度のもの)
 ・35kgの公認証明された分銅 ・艇重量と補正重量を含むすべての艇が管理されたマスターリスト×1
 ・300, 200, 100, 50 gの木片。ハルの重量補正としてチームに供給おおよそ(10kg以内)。

・ペン、防水マーカー、コピー用紙



ステーション E : セール 管理 (赤色の計測用紙)

機能 : この部署は、管理される計測項目が多数のために、最も込み入っていて忙しい。ゆえに部署分割する (130艇を超えれば : 計測台 2 基、210艇を超えれば : 計測台 3 基 のセール計測台) 計測用紙に セールラベル/ボタン番号を記入することは重要である。

セールと補強生地の**素地**・リーチ・ラフ・フット・セール対角線の**長さ**、リーチ部が**凹状か凸状か**・セールの**幅**・セール**計測バンド**・フットの**中点**、等々を検査する。クラスロゴの位置と寸法、バテンポケット、バテンポケット補強、セール番号などを検査する。

スタッフ : 各計測台に計測員 1 名 : **OP のセール計測の経験者**。

各計測台に できればOPセール経験のある補助員 1 名、他の補助員 1 名

用具 : ・ 2.3×2.9の計測台 × 2 または 3、**完全に水平で滑らか**である事。

可能であれば、計測台は下側に補強を入れた 1 枚板で制作する事。

計測台の高さは90cmであること。

- ・ セール計測テンプレート × 2 または 3 (IODA事務局より入手可能)
- ・ 椅子 × 4
- ・ デジタルマイクロメーター
- ・ 3 m以上の 2 級テープメジャー × 3 (スタンレーまたは同等品)
- ・ 選手権の**公式スタンプ** × 2
- ・ セール生地に対して防水性のインク
- ・ スタンプ台 × 3
- ・ 防水マーカー、ペン、鉛筆、コピー用紙



追加となる用具 :

- ・ 無線 (VHF) レース事務局との連絡用電話は、RC 艇、I J と共用する。
- ・ Tシャツ or 計測補助員を識別する帽子
- ・ 水の入った冷蔵庫
- ・ 紙くず入れ (サイズ大)
- ・ アセトンとボロ布
- ・ 計測場の外部に修理用の 2 × 2 m テーブル × 1
- ・ 透明テープ (セロテープ)



私たちはこの場を借りて 退任や現任の計測員 : Technical Committee members Jean Luc Gauthier, Alberto Pindozi and S. V. Balachander. Measurers 村松 哲太郎、Claudio Zon、宇田川 真帆、and our IM's Curly Morris, Conxa Ontiveros Caffaro, Diego Freiria の皆さんにより このマニュアルの写真とデザインが手伝われたことに 感謝いたします。

IODA テクニカル委員会 委員長

オリブ パーカー Olive Parker

2019 年 2 月



IODAの2017年 基準 (参考となるもの)**小程度(テクニカル)のペナルティ :**

フリートの約5% と同等のペナルティ

- チャーター艇の損傷を報告しないこと (SI)
- ペナルティ報告やリタイア報告を怠ること (SI)
- 色リボンを表示しないこと (SI)
- SI 安全規則の違反 …… 危険が含まれていなかった場合
- SI 艇置き違反

中程度のペナルティ : フリートの 10 % と同等のペナルティ

- アカ汲みが ハルレに取り付けられていなかった (CR 4.3)
- パドルが ハルレに取り付けられていなかった (CR 4.3)
- ハルレにダガー ボードが取り付けられていなかった (CR 3.3.4)
- もやいロープがマストステップ/マストスウォートに取り付けられてなかった (CR 4.3)
- 笛が 個人用浮揚用具に取り付けられていなかった (CR 4.2)
- SI 25 ごみ処分の違反
- 1本のセールタイ (ガラミ) が 5mm以上ゆるんでいた (CR 6.6.3.4)
- 2本のセールタイ (ガラミ) が 3mm以上ゆるんでいた (CR 6.6.3.4)
- セールタイ (ガラミ) が 偶然無くなっていた (CR 6.6.3.4)
- スタート前やフィニッシュ後にレースを横切って進行する (SI 13.4)
- 待機エリアの外 (SI)
- 支援艇のSI 24 違反

重大なペナルティ : フリートの 30 % と同等のペナルティ

- アカ汲み、パドル や もやいロープが艇に積んでいなかった (CR 4.3)
- **笛が無かった (CR 4.2)**
- ハルレにマストを固着するラニヤード、ロック装置や他の仕組みはない (CR 3.5.2.11)
- セールがマストの2本のバンドから外れている (CR 3.5.2.7)
- 2本のセールタイ (ガラミ) が 5mm以上ゆるんでいた (CR 6.6.3.4)
- 3本以上のセールタイ (ガラミ) が 3mm以上ゆるんでいた (CR 6.6.3.4)
- スロート、タック、クリューのハトメで 3mm以上ゆるんでいた (CR 6.6.3.4)
- 中程度のペナルティが繰り返された

失 格 になるかも? (RRS の適用) SPにはないが、RC/TC から プロテスト委員会に抗議することができる。

- 罰則を修正された箇所以外のすべての RRS
- 罰則を修正された箇所以外のすべての SI
- 罰則を修正された箇所以外のすべての OPクラス規則
- 計測で検査されていない装備品の使用
- 承認されていない艀装品の使用
- 重大なペナルティ違反を繰り返す

海上計測の罰則 SP

SP: 標準ペナルティとは レース委員会 または
テクニカル委員会によってプロテスト委員会
の審問なしに適用される規則。
海上計測での違反は 直ちに公式掲示されて
選手に通知、選手がこれを不服とすれば
救済要求を提出し、選手の権利を主張できる。

ペナルティシステムの変遷**1970 頃**

クラスルール違反は全て失格

1980~2010 頃

軽い違反には レース委員会から
審問なしに PTP,PFP を与える

2011~2014

指定された違反の軽重は
DPI としてジュリーの
裁量により裁定する。

2015~

軽い違反には レース委員会から
審問なしに SP を与える

2017~

計測委員会はレース委員会から
独立しテクニカル委員会と呼称

チームレース

小程度のペナルティ - 2点

中程度のペナルティ - 4点

重大なペナルティ - DSQ

セミナー 目次

CONTENTS

ページ

- 1 このクラスの目的とは？ オプティミストの由来～
- 2 計測員にできる事とは？
- 2 JODA 計測員 養成プログラム
- 3 関連資料（規則・マニュアル&ガイド）の入手方法
- 4 JODA [HP](#) から取り出せる資料／公式図面 セール図 フォイル図 リギン図
- 5 国際 OP 級 **クラス規則** 1 総則 2 管理 3 構造および計測規則
- 6 広告規程 1. 製造業者とセールメーカーのマーク
2. 大会スポンサーの広告 3. 競技者の広告
- 6 IODA 公示 2016 年
- 6 セール上の識別 RRS G 1.2 (a)
- 7 RRS 2017-2020 の改訂 テクニカル委員会の新設
- 8 基本計測実習 セール
- 9 セール計測フォーム 和文 表面
- 10 セール計測フォーム 和文 裏面
- 11 大会計測 IODA 計測マニュアル
- 15 海上計測の罰則 ペナルティシステムの変遷

JPN3210 岡田 奎樹 の 足跡 2010 ワールド銅メダル！ 2020 オリンピック 470 日本代表 !!



10 年ひと昔。2010 にマレーシアで日本最高成績となる
3 位 **銅メダル**を獲得！ オリンピックセーリング競技では
世界の選手達の 50%以上が 実に OP 出身と言われ、
2020 で彼の OP 以上の活躍が 熱く期待されている。